

2005 年度
(平成 17 年度)

事業計画書

自 2005 年 4 月 1 日

至 2006 年 3 月 31 日

財団法人日本映像国際振興協会

平成 17 年度事業計画書

(1) 国際映画祭事業

- 名 称： 第 18 回東京国際映画祭
- 主 催： 財団法人日本映像国際振興協会
- 期 間： 平成 17 年 10 月 22 日（土）～平成 17 年 10 月 30 日（日） 9 日間
- 企 画： 自主企画部門、共催企画部門、提携企画部門
- 開 催 会 場： Bunkamura（渋谷区）、六本木ヒルズ（港区）をメイン会場として、その他
都内の各劇場及び施設・ホールを使用
- 後 援： 経済産業省／外務省／総務省／文化庁／日本自転車振興会／
（予 定） 国際交流基金／渋谷区／港区／日本貿易振興機構／東京商工会議所／
社団法人日本映画製作者連盟／社団法人映画産業団体連合会／
社団法人外国映画輸入配給協会／
モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）／
全国興行生活衛生同業組合連合会／東京都興行生活衛生同業組合／
財団法人角川文化振興財団／財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団
東急グループ
- 補 助 ・ 助 成： 日本自転車振興会（競輪公益資金）／文化庁映画芸術振興事業／
（予 定） 国際交流基金／日本貿易振興機構
- 協 賛： 民間企業各社及び団体

【映像部門】

(1) コンペティション（共催：東京都）

本映画祭が発足当初より重点を置いている「明日の映画界を担う新しい才能の発掘と支援」に軸足を置きながら、2004 年 7 月以降に完成した 35 ミリ長編作品を対象に世界各国から公募します。応募作品の中から厳正な予備選考を経た 15 本（予定）を期間中上映します。

各作品の上映後に招聘したゲスト（作品関係者）によるトークインを行い観客との交流の輪を広めます。

国際映画製作者連盟の規約に従い、映画プロデューサーを含む 6 名（内、日本人 2 名）で構成される国際審査委員会を設けて作品の審査を行い、東京グランプリ、審査員特別賞、最優秀監督賞、最優秀女優賞、最優秀男優賞、最優秀芸術貢献賞の 6 賞が 10 月 30 日の閉会式会場で発表され、東京グランプリには 10 万米ドル、審査員特別賞には 2 万米ドルが賞金として贈られます。併せて東京グランプリ受賞作品に東京都知事から賞状とトロフィー（麒麟像）が贈られます。

また、みなと委員会の協力により、一般観客の投票による観客賞が設けられ、賞金 1 万米ドルが 1 作品に贈られます。

(2) 特別招待作品

国内未公開の話題作品を 20 本（予定）上映します。招聘した作品ゲストによる舞台挨拶やイベント参加などで華やかに盛り上げ、東京国際映画祭の PR と観客動員に繋がります。

(3) アジアの風

世界の映画界で、現在最も活気のあるアジア各国や地域で製作された優れた作品 30 本（予定）を選び上映します。

上映作品の製作者や作品スタッフを招聘して、国際映像マーケットにも参加してもらい、日本の映像業界との文化交流とアジア映画の産業の発展に繋がります。

(優秀アジア映画賞)

アジア映画の発展を支援する目的で設けられる賞です。

アジア地域で製作され、「アジアの風」部門で上映された作品の中から、アジア映画賞審査委員会により 1 作品が選ばれ、賞金 1 万米ドルが贈られます。

併せて渋谷区から区長賞の「楯」が贈られます。

(4) 日本映画・ある視点

活況を増している日本映画の中から、ある角度に焦点を絞って、一般観客を始め、海外からのゲストにも新しい日本映画の躍動を紹介する企画です。個性に溢れた多様性のある作品を選定して上映します。

上映作品の中から、作品賞と個人賞を選び、表彰します。

(5) ニッポン・シネマ・クラシック（共催：（社）映画産業団体連合会）

日本映画史上不朽の名作や、一世を風靡した映画などを独特な切り口で特集し、その真価と面白さを改めて見直すとともに、日本映画の新しいファン層と潜在観客層の掘り起こしを図ります。

(6) 東京アニメ映画祭

テレビアニメから誕生した劇場用アニメ映画も、熱心なファンと共に大きく成長し、独自の発展をしております。今回も新しいテーマの下に作品の上映とファンとの交流を図ります。

(7) 第 4 回東京国際 CG 映像祭

実写、アニメを問わず、CG 映像の使用が製作上欠かせないファクターとなっております。CG 制作のクオリティーアップに繋がる問題を取り上げて上映会とシンポジウムを開催します。

(8) 第18回東京国際女性映画祭（主催：東京国際女性映画祭実行委員会）

世界各国の女性監督が、未来への誠実な願いを込めて取り組んだ作品を15本（予定）上映します。

期 日：平成17年10月23日（日）～27日（木）（予定）

会 場：東京ウィメンズプラザ

(9) 東京国際ファンタスティック映画祭2005

（主催：東京国際ファンタスティック映画祭実行委員会）

今年も新宿歌舞伎町地区での開催となります。

(10) ショートショートフィルム・フェスティバル

（主催：ショートショートフィルム・フェスティバル事務局）

本年6月開催の「ショートショートフィルム・フェスティバル2005」の授賞作品を上映します。

期 日：平成17年10月29日（土）

会 場：東京都写真美術館 映像ホール

(11) 第2回みなと上映会（共催：みなと委員会）

港区の資金援助を受けて、港区内の商店会、自治会、町会で結成された東京国際映画祭「みなと委員会」との共催企画。

子供から大人まで楽しめる作品の上映とイベントを企画しています。

昨年は、家族向き映画のボイスオーバー上映（舞台上で声優が吹き替えをする）を実施して、大変好評を博しました。

(12) ネットムービーフェスティバル2005（共催：NTT、インテル）

昨年に引き続き、短編の作品を一般から公募し、予選通過作品の中から審査員による「グランプリ」と一般投票によるオーディエンス賞を設けます。

昨年の第1回は一般応募作品が293本あり、その中から10本をネット上で上映しました。

(13) デジタルシネマ上映会（共催：NTT 技研）

急速な普及が期待されている新しいデジタルシネマ作品の上映をします。

昨年の第1回では、東京と大阪の2会場で4K デジタルシネマ版の「失楽園」を上映しました。

(14) 毎日映画コンクール傑作集

60回目を迎える毎日映画コンクールの大賞授賞作品の中から数作品を選んで上映します。

- (15) 外国映画週間 コリアン・シネマ・ウィーク 2005 (主催：駐日韓国大使館)
 5回目を迎え、今年も新作と著名なゲストを迎えての上映会となります。
 ファンも年々増加しています。

【非映像系部門 (シンポジウム・セミナー)】

(1) 文化庁映画週間 (主催：文化庁)

① 「RIFF2005」(予定)

日本各地の地域を題材に、その地域の人達や行政の支援を受けながら、意欲的に製作された優秀作品を上映します。

② 「第3回文化庁映画賞記念上映会」(予定)

優れた文化記録映画作品を顕彰する文化記録映画賞と、映画界に功績を残した映画人に贈る映画功労賞の授賞式と記念上映会。

③ 「文化庁フィルムコミッション・コンベンション」(予定)

海外のFC関係者をゲストに招き、国内のフィルムコミッション関係者を交えて、活動支援の在り方や現状についてのコンベンションを開催する予定です。

(2) ASEAN+3 コンテンツセミナー (仮称) (主催：経済産業省)

日中韓およびASEAN 10カ国の閣僚級によるコンテンツセミナーの開催。

第17回東京国際映画祭のセレモニーで中川昭一 経済産業大臣が提唱した政府間の国際会議で、東京国際映画祭の開催期間中に行なわれる予定です。

【マーケット部門】

① 東京アジアパシフィック・エンタテインメント・マーケット

主催：経済産業省、財団法人日本映像国際振興協会、日本映像振興株式会社

会期：(ビジネスデー) 平成17年10月26日(水)～28日(金)

(一般デー) 平成17年10月29日(土)～30日(日)

会場：六本木ヒルズ森タワー

経済産業省の委託事業として今年も実施します。昨年実施した「東京国際フィルム&コンテンツマーケット2004」と「東京国際エンタテインメントマーケット2004」を一つの企画としました。

② 東京コンテンツマーケット2005 (仮称) (予定)

主催：独立行政法人中小企業基盤整備機構

共催：経済産業省中小企業庁、関東経済産業局

会場：東京国際フォーラム

未発掘の優れたコンテンツを発掘、発信するBtoBマーケット。

昨年は出展者による作品展示のほか、第一線で活躍しているクリエイターやプロデューサーによるシンポジウムを行なった。

(2) 国際振興支援事業

[映画祭展示支援事業]

主要映画祭での「ジャパン・パビリオン」「ジャパン・ブース」の出展

- ・文化庁日本映画海外上映等支援事業の業務委託を受けて2003年度（平成15年度）から続けている事業です。
- ・カンヌ映画祭、トロント映画祭、プサン映画祭、ベルリン映画祭において、日本映画ブースやパビリオンを出展、専門スタッフを派遣し日本映画のプロモーション活動を実施します。

[映画祭出品支援事業]

海外映画祭・映画見本市への出品支援 「日本映画海外展開助成」

- ・上記事業と同じく、文化庁日本映画海外上映等支援事業の業務委託を受けて2003年度（平成15年度）から実施しています。
- ・海外の映画祭や映画マーケットに参加する日本映画、日本の映画製作者に対して助成を行なう事業で、助成内容は、外国語字幕製作への助成、海外渡航への助成、宣伝用素材製作への助成の3項目です。
- ・カンヌ、ベネチア、ベルリンなど主要映画祭のコンペ招待作品への優先枠、若手映画製作者のための特別枠を設けています。

[顕彰・助成事業]

- ① 東京国際映画祭のコンペティション部門における東京グランプリ、その他優秀作品、監督、俳優に対する顕彰。
- ② アジアの優秀作品に対する顕彰（最優秀アジア映画賞）
- ③ 世界の映画界で顕著な功績を挙げている個人に対する顕彰（黒澤明賞）
- ④ フィルムライブラリー活動に対する助成として、国立近代美術館フィルムセンターへ製作者の承認を得て、優秀作品のプリントや映画資料の寄贈。

[調査・研究事業]

映画・映像に関する調査と情報収集及び出版などの事業

(1) 海外向け日本映画年鑑「Japanese Film」の出版

- ・文化庁芸術団体人材育成支援事業からの業務委託となっている刊行物「Japanese Film」の編集制作（3月発行）と国内外への配布を行ないます。カンヌ等、海外主要映画祭にて配布し、また在日外国公館、在外日本公館にも資料として提供します。

(2) 海外向け新作日本映画カタログ「New Cinema from Japan」の出版

- ・国際交流基金との共同事業である刊行物「New Cinema from Japan」の編集制作（2月と9月の年2回発行）と国内外への配布を行ないます。

- ・主要映画祭やマーケットの開催時期に合わせて発行、最新の日本映画の紹介、その映画の製作会社、配給会社の紹介を掲載します。
- ・カンヌ、ベルリン、ベネチア、トロント、プサン、東京など主要映画祭で配布しています。

[啓蒙・普及事業]

(1) 「ユニジャパン通信」の発行

- ・海外で開催される国際映画祭等の情報を収集し、国内の映画関係者に FAX やメールで配信する「ユニジャパン通信」は隔週で発行し、同通信はユニジャパンのウェブサイトにも掲載されています。
- ・ヨーロッパ、北米、韓国で劇場公開された日本映画の興行情報の収集を行ない、海外の主要映画雑誌で紹介された日本映画に関する記事の収集も行ないます。

(2) 日本映画ウェブサイト「www.unijapan.org」の運営

- ・日本自転車振興会補助を受けた財団の自主事業として 2003 年（平成 15 年）5 月から運営しています。
- ・日本映画データベース、日本映画産業連絡先リスト、産業統計、映画祭&マーケット情報を掲載し、「映画祭&マーケット情報」は隔週で更新して配信しています。この頁は「ユニジャパン通信」でも配信します。

(3) 東京国際映画祭ウェブサイト（www.tiff-jp.net）の運営

東京国際映画祭の作品関係応募の窓口。広報活動としてメールマガジンを毎週発行。

[国際映画協力推進事業]

(1) 日仏映画協力覚書の締結

世界主要国の映画振興政策や国際的共同製作の調査と、海外主要国との映画協力の推進を図ります。今年 5 月にはフランス国立映画センター（CNC）と当財団間で映画協力の覚書を締結する予定です。

(以 上)

平成17年度収支予算書(案)

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

科 目	変更予算額	前年度予算額	増 減	備 考
【1】 収支の部				
1. 基本財産運用収入	3	32	△ 29	
基本財産利息収入	3	32	△ 29	
2. 会 費 収 入	67,580	71,520	△ 3,940	
賛助会員会費収入	67,580	71,520	△ 3,940	
3. 事 業 収 入	488,483	696,732	△ 208,249	
(1) 業務受託料	254,183	399,789	△ 145,606	
① 経済産業省	150,000	290,000	△ 140,000	
② 文化庁	87,183	100,300	△ 13,117	
③ 港区	17,000	9,489	7,511	
(2) 入場料収入	36,500	42,524	△ 6,024	
(3) 企画タイアップ収入	194,300	215,702	△ 21,402	
(4) その他の収入	3,500	38,717	△ 35,217	
4. 補助金等収入	75,744	74,965	779	
(1) 日本自転車振興会	44,144	44,965	△ 821	
(2) 文化庁	30,000	30,000	0	
(3) 国際交流基金	1,600	0	1,600	
5. 分担金収入	31,100	31,100	0	
(1) 東京都	30,000	30,000	0	
(2) 渋谷区	1,100	1,100	0	
6. 寄付金収入	174,500	126,431	48,069	
7. 雑 収 入	10	5	5	
(1) 運用財産利息収入	1	5	△ 4	
(2) 雑収入	9	0	9	
8. 敷戻り金収入	0	4,576	△ 4,576	
9. 借入金収入	150,000	124,000	26,000	
10. 基本財産取崩収入	0	52,000	△ 52,000	
当期収入合計	987,420	1,181,361	△ 193,941	
前期繰越収支差額	0	184,922	△ 184,922	
収入合計	987,420	1,366,283	△ 378,863	

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増減	備 考
【2】 支出の部				
1. 事 業 費	688,930	873,134	△ 184,204	
(1) 国際映画祭事業費	593,755	759,817	△ 166,062	
① コンペティション費	78,650	68,950	9,700	
② 特別招待作品費	38,260	26,539	11,721	
③ アジアの風費	68,230	76,588	△ 8,358	
④ 日本映画・ある視点費	15,650	1,798	13,852	
⑤ 開 催 費	354,255	534,391	△ 180,136	
⑥ 東京アニメ映画祭費	3,400	3,151	249	
⑦ 東京国際CG映像祭費	3,400	5,357	△ 1,957	
⑧ ニッポン・シネマ・クラシック費	3,000	2,815	185	
⑨ 顕彰助成事業費	28,910	40,228	△ 11,318	
(2) 国際振興支援事業費	80,970	93,015	△ 12,045	
① 映画祭展示支援事業費	32,985	35,540	△ 2,555	
② 映画祭出品支援事業費	47,985	57,475	△ 9,490	
(3) 調査・研究事業費	6,145	8,572	△ 2,427	
(4) 啓蒙普及事業費	8,060	11,730	△ 3,670	
2. 管 理 費	68,290	84,930	△ 16,640	
3. 映画祭事業積立預金支出	78,000	0	78,000	
4. その他の支出	0	126,842	△ 126,842	
5. 退職給与引当金繰入額	1,200	1,200	0	
6. 敷 金 支 出	0	5,321	△ 5,321	
7. 借入金返済支出	150,000	274,000	△ 124,000	
8. 予 備 費	1,000	0	1,000	
当期支出合計	987,420	1,365,427	△ 378,007	
前期収支差額	0	△ 184,066	184,066	
次期繰越収支差額	0	856	△ 856	

(注) 借入限度額 450,000千円

支出予算内訳

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
支出の部				
1. 事業費	688,930	873,134	△ 184,204	
(1) 国際映画祭事業費	593,755	759,817	△ 166,062	
① コンペティション費	78,650	68,950	9,700	
会議費	1,800	1,806	△ 6	
旅費交通費	26,900	20,522	6,378	
通信運搬費	1,500	1,133	367	
消耗品費	300	252	48	
賃借料	11,000	750	10,250	
謝金	3,800	2,500	1,300	
委託費	32,800	40,407	△ 7,607	
諸手数料	100	73	27	
雑費	450	1,507	△ 1,057	
② 特別招待作品費	38,260	26,539	11,721	
会議費	100	10	90	
旅費交通費	300	328	△ 28	
通信運搬費	50	18	32	
消耗品費	10	7	3	
賃借料	20,000	788	19,212	
委託費	17,800	23,746	△ 5,946	
雑費	0	1,642	△ 1,642	
③ アジアの風費	68,230	76,588	△ 8,358	
会議費	500	454	46	
旅費交通費	11,700	7,867	3,833	
通信運搬費	50	1,583	△ 1,533	
消耗品費	10	17	△ 7	
印刷製本費	4,000	0	4,000	
賃借料	12,500	1,506	10,994	
謝金	670	667	3	
委託費	38,800	64,428	△ 25,628	
諸手数料	0	12	△ 12	
雑費	0	54	△ 54	
④ 日本映画・ある視点費	15,650	1,798	13,852	
会議費	100	28	72	
旅費交通費	50	0	50	
通信運搬費	50	1	49	
賃借料	5,000	0	5,000	
謝金	350	334	16	
委託費	10,100	1,435	8,665	

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
⑤ 開 催 費	354,255	534,391	△ 180,136	
臨時雇用賃金	100	179	△ 79	
会議費	1,800	2,093	△ 293	
旅費交通費	19,530	28,800	△ 9,270	
通信運搬費	6,280	6,838	△ 558	
消耗品費	5,120	7,215	△ 2,095	
印刷製本費	2,380	3,805	△ 1,425	
賃借料	29,430	44,001	△ 14,571	
保険料	3,980	2,330	1,650	
委託費	268,760	421,010	△ 152,250	
諸手数料	7,750	3,478	4,272	
租税公課	30	68	△ 38	
光熱水料費	35	80	△ 45	
雑費	9,060	14,494	△ 5,434	
⑥ 東京アニメ映画祭費	3,400	3,151	249	
委託費	3,400	3,150	250	
諸手数料	0	1	△ 1	
⑦ 東京国際CG映像祭費	3,400	5,357	△ 1,957	
委託費	3,400	5,357	△ 1,957	
⑧ ニッポン・シネマ・クラシック費	3,000	2,815	185	
委託費	3,000	2,815	185	
⑨ 顕彰助成事業費	28,910	40,228	△ 11,318	
委託費	210	209	1	
印刷製本費	170	171	△ 1	
諸手数料	30	29	1	
コンペティション賞金	14,840	15,834	△ 994	
アジア映画賞賞金	1,060	1,065	△ 5	
黒澤明賞賞金	10,600	20,920	△ 10,320	
賞	2,000	2,000	0	
(2) 国際振興支援事業	80,970	93,015	△ 12,045	
① 映画祭展示支援事業費	32,985	35,540	△ 2,555	
旅費交通費	3,700	3,200	500	
通信運搬費	2,300	3,040	△ 740	
委託費	26,985	29,300	△ 2,315	
② 映画祭出品支援事業費	47,985	57,475	△ 9,490	
会議費	0	200	△ 200	
旅費交通費	0	75	△ 75	
通信運搬費	0	200	△ 200	
賃借料	0	400	△ 400	
委託費	5,985	2,600	3,385	
字幕補助費	42,000	54,000	△ 12,000	

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
(3) 調査・研究事業費	6,145	8,572	△ 2,427	
会 議 費	60	170	△ 110	
旅 費 交 通 費	1,220	1,745	△ 525	
通 信 運 搬 費	0	440	△ 440	
消 耗 品 費	0	30	△ 30	
印 刷 製 本 費	2,155	1,800	355	
賃 借 料	0	200	△ 200	
図 書 新 聞 費	0	60	△ 60	
委 託 費	2,690	4,060	△ 1,370	
保 險 料	10	0	10	
雑 費	10	67	△ 57	
(4) 啓蒙普及事業費	8,060	11,730	△ 3,670	
会 議 費	0	100	△ 100	
旅 費 交 通 費	0	100	△ 100	
賃 借 費	0	700	△ 700	
委 託 費	8,060	9,800	△ 1,740	
海 外 誌 掲 載 費	0	1,030	△ 1,030	
2. 管 理 費	68,290	84,930	△ 16,640	
給 与 手 当	10,840	7,200	3,640	
臨 時 雇 用 賃 金	0	92	△ 92	
法 定 福 利 費	1,000	1,000	0	
福 利 厚 生 費	250	591	△ 341	
会 議 費	1,100	1,299	△ 199	
旅 費 交 通 費	1,700	1,932	△ 232	
通 信 運 搬 費	2,270	4,313	△ 2,043	
什 器 備 品 費	0	200	△ 200	
消 耗 品 費	1,400	2,000	△ 600	
図 書 新 聞 費	300	140	160	
印 刷 製 本 費	450	692	△ 242	
水 道 光 熱 費	1,000	1,683	△ 683	
賃 借 料	10,000	18,518	△ 8,518	
役 務 費	1,050	3,150	△ 2,100	
租 税 公 課	1,690	2,587	△ 897	
委 託 費	32,920	26,655	6,265	
移 転 費	0	4,912	△ 4,912	
支 払 利 息	600	1,083	△ 483	
諸 手 数 料	620	947	△ 327	
雑 費	1,100	2,846	△ 1,746	
退 職 金	0	2,500	△ 2,500	
解 散 事 務 費	0	590	△ 590	

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
3. 映画祭事業積立預金支出	78,000	0	78,000	
4. その他の支出	0	126,842	△ 126,842	
5. 退職給与引当金繰入額	1,200	1,200	0	
6. 敷 金 支 出	0	5,321	△ 5,321	
7. 借入金返済支出	150,000	274,000	△ 124,000	
8. 予 備 費	1,000	0	1,000	
当期支出合計	987,420	1,365,427	△ 378,007	